

第15回

研究者と実務者による国際協力勉強会

(JICA大阪・民博・阪大GLOCOL セミナー)

国際協力を効果的に進めていくためには、開発問題や途上国事情に詳しい研究者と国際協力事業の実務者との対話が必要です。本勉強会を通じて、研究者は実務の現場を知り、自身の研究の実践的価値を検討することができます。実務者は日頃の自分の経験を振り返り、業務中に生じた疑問に対するヒントを見つかり、包括的な立場から国際協力について考えることができます。



また国際協力／研究に関心のある方ならどなたでも、本勉強会にご参加ください。国際協力／研究の「現場」に触れられます。開発研究・地域研究・人類学に興味のある方、NGOスタッフ、コンサルタント、ボランティアとして国際協力に関わっている方など、多方面からのご参加をお待ちしています。

2010年7月23日（金）

18:40～20:40 場所：JICA大阪（茨木市）

「南アフリカにおける国際援助の課題と展望」

フセイン・ソロモン教授 プレトリア大学政治学部（南アフリカ）

ファシリテーター：ヴァージル・ホーキンス特任助教 大阪大学GLOCOL

Development Assistance to South Africa: Challenges and Prospects

Professor Hussein Solomon, Department of Political Sciences, University of Pretoria (South Africa)

Facilitator: Virgil Hawkins (Assistant Professor, GLOCOL)

南アフリカのプレトリア大学からフセイン・ソロモン先生をお招きし、同国への国際協力が、持続的な経済発展と民主主義の確立のうえでどのような役割を果たしているかについてお話しいただきます。
英語講演、日本語通訳あります。

This seminar examines the nature and impacts of development assistance in South Africa within the context of sustainable economic growth and democratic consolidation.



フセイン・ソロモン：
南アフリカ・プレトリア大学
国際政治研究センター長、同
大政治学部教授。アフリカの
紛争解決、移民問題、南アフ
リカの外交政策、国連改革、
宗教的「原理主義」などにつ
いての業績多数。

プログラム

- 18:40- 開会
18:50- 講演（フセイン・ソロモン教授）
19:50- ディスカッション
20:40- 閉会
21:00- 懇親会（希望者のみ）

アクセス

JICA大阪国際センター

茨木市西豊川町25-1 TEL : 072-641-6904

JR茨木駅・大阪モノレール阪大病院前駅から無料

シャトルバスあり。詳細は www.jica.go.jp/osaka/ をごらんください。

申込み

件名を「参加申込」とし、
①氏名、所属、Eメールアドレス ②懇親会参加の有無を
jicaminseminar@yahoo.co.jp（担当：上田・三田）までメールでお送りください。
7月21日（水）〆切。参加費無料。定員50名（先着順）。

問い合わせ

勉強会事務局：大阪大学GLOCOL

TEL : 06-6879-4442 担当：上田・三田

当日連絡先：JICA大阪

TEL : 072-641-6904 担当：中谷・難波

携帯メールよりのお申し込み

